

雜 報

◎人 事

(各通)

叙従七位

岡山醫科大學助教授 武田 縫 次

(五月十五日)

本俸八級俸下賜

(五月三十日)

防疫醫 池田 正 行

陛シテ高等官四等ヲ以テ待遇セラル

(五月三十一日)

岡山醫科大學助教授 北山 加 一 郎

本俸五級俸下賜

(六月五日)

從五位勳四等 齋 藤 清

叙勳三等授瑞寶章

從六位勳六等 正 木 豊

叙勳五等授瑞寶章

(六月九日)

杉 本 徹

任國立療養所醫官

叙高等官七等

國立療養所醫官 杉 本 徹

九級俸下賜

長島愛生園勤務ヲ命ス

(六月十三日)

○田部 浩君 歐洲各國土耳其、埃及、印度及暹羅國に出張を命ぜられたる同君は本月15日當地出發同日神戸出帆の箱根丸にて出發せられたり

○平川龍造君 過日下志津衛成病院院長を辭せられたる同君は今回滿洲國齊々哈爾衛成病院に勤務せられたり

○三谷 登君 は豫て岡山醫科大學柿沼内科教室に勤務し居られしが今般愛媛縣新居郡角野村住友病院

端出場分院に轉勤せられたり

○岩永勲一君 は岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室に勤務し居られしが今般岸和田市宮本町西田病院に轉勤せられたり

○大島捷六君 は岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室に勤務し居られしが今般姫路市本町藤森耳鼻咽喉科病院に轉勤せられたり

○黃田克巳君 は豫て北海道美唄三菱鑛業所に勤務し居られしが今般宮崎縣東臼杵郡北方村三菱嶺峯鑛山に轉勤せられたり

○本多 稔君 豫て岡山醫科大學柿沼内科教室に勤務し居られし同君は今般大阪市東成區東小橋北ノ町三丁目に於て開業せられたり

○村上立男君 は豫て岡山醫科大學皮膚科泌尿器科教室に勤務し居られしが今般辭職福山市鍛冶屋町に於て開業せられたり

○河田榮一君 は豫て姫路市藤森耳鼻咽喉科病院に勤務し居られしが今般同院を辭し同市上白銀町に於て開業せられたり

○伊藤駒夫君 は豫て廣島縣佐伯郡大柿町葎南病院に勤務し居られしが今般辭職郷里大分市荷揚町に歸山せられたり

○結城英夫君 は豫て岡山醫科大學産科婦人科學教室及び生化學教室に勤務し居られしが今般辭職廣島市稻荷町に於て開業せられたり

○正岡 旭君 は豫て岡山醫科大學産科婦人科教室に勤務し居られしが今般其の職を辭し廣島市猫屋町に於て開業せられたり

○松元健二君 は今般岡山醫科大學産科婦人科教室を辭し德島市半田町逢坂病院婦人科部長として赴任せられたり

◎學位授與

進藤眞作, 坂本寛, 石原貫一, 藤間静の4君は豫て論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求し居られしが進藤, 坂本の兩君は本年4月17日, 石原, 藤間の兩君は本年5月1日の教授會を通過し前者は本月6日, 後者は本月10日孰れも醫學博士の學位を授與せられたり其の主論文及び参考論文は左の如し

進藤眞作君

主論文

前房ノ深サノ研究

第1報 正常眼ノ前房ノ深サニ就テ(日本眼科學會雜誌第36卷第11號ニ發表セリ)

第2報 病的眼前房ノ深サノ研究(日本眼科學會雜誌第37卷第2號ニ發表セリ)

第3報 「アドレナリン」ノ前房ノ深サニ及ボス影響(日本眼科學會雜誌第37卷第6號ニ發表ノ豫定)

第4報 2, 3散縮瞳藥ノ前房ノ深サニ及ボス影響(日本眼科學會雜誌第37卷第6號ニ發表ノ豫定)

参考論文

1. 短波長可視光線及ビ之ト「アドレナリン」トノ併用ニ依ル網膜障障ニ關スル實驗的補遺(日本眼科學會雜誌第36卷第4號ニ發表セリ)
2. 先天性全色盲ノ2例(日本眼科學會雜誌第36卷第6號ニ發表セリ)
3. 2名ノ全色盲患者ニ就テ檢セル波長ヲ異ニスル光線ノ明ルサノ割合(日本眼科學會雜誌第35卷第12號ニ發表セリ)
4. 眼底變化ヲ伴ヘル特發性夜盲症ノ1稀例(日本眼科學會雜誌第34卷第11號ニ發表セリ)
5. 原發性脈絡膜黑色肉腫ニ就テ(中央眼科醫報第21卷第11號ニ發表セリ)
6. 眼瞼結膜結核(中央眼科醫報第22卷第12號ニ發表セリ)

7. 稀有ナル経過ヲトリシ水晶體脱臼症例(實驗眼科雜誌第15年第136號ニ發表セリ)
8. 血管硬化症ニ於ケル網膜血管ノ臨牀的所見ニ就テ(實驗眼科雜誌第13年第105號ニ發表セリ)
9. 眼瞼挫傷ニ依ル皺傷風ノ1例(實驗眼科雜誌第14年第1號ニ發表セリ)
10. 角膜「ヘルペス」ノ2症例(眼科臨牀醫報第26年第7號ニ發表セリ)
11. 「ヂフテリー」後内外眼筋麻痺ノ3例(眼科臨牀醫報第27年第2號別冊ニ發表セリ)

坂本寛君

主論文

「ベンチールグアニジン」, 「パラオキシベンチールグアニジン」及ビ「グアニジン」ノ血液有形成分ニ及ボス影響ニ就テ

第1報 白血球像, 赤血球及ビ血小板數ニ及ボス影響(追テ本誌ニ發表ノ豫定)

第2報 「チフス」菌毒及ビ「ベンツオール」ニ因ル白血球減少症トノ關係(追テ本誌ニ發表ノ豫定)

第3報 之等物質ノ白血球ニ對スル作用ト脾臟及ビ甲狀腺トノ關係(追テ本誌ニ發表ノ豫定)

参考論文

1. 「アドレナリン」及ビ「コカイン」ノ合併作用殊ニ交感神經ガ抑制ヲ司ル臟器ニ於ケル關係ニ就テ(本誌第43年第8號ニ發表セリ)
2. 腦下垂體後葉「エキス」ノ「アドレナリン」作用ニ及ボス影響. 殊ニ交感神經ガ抑制ヲ司ル臟器ニ就テ(本誌第43年第11號ニ發表セリ)
3. 「アミノ」酸ノ「アドレナリン」感作用ニ關スル知見補遺(本誌第44年第9號ニ發表セリ)
4. 「ヨヒムピン」及ビ「ヒニン」ノ血液像ニ對スル作用ノ比較. 殊ニ夫等ガ「アドレナリン」ノ作

用ニ及ボス影響ニ就テ

第1編「ヨヒムピン」ノ作用及ビ之ト「アドレナリン」トノ關係（本誌第45年第5號ニ發表セリ）

5. 同上

第2編「ヒニン」ノ作用及ビ之ト「アドレナリン」トノ關係（追テ本誌ニ發表ノ豫定）

石原貫一君

主論文

前庭神經ノ比較解剖（Arbeiten aus dem neurologischen Institute an der Wiener Unipersität. 33. Bd., 2 und 3 Heftニ發表セリ）

參考論文

1. 鳥類ノ鼻腔器官ニ關スル知見（耳鼻咽喉科實函第98卷第5號ニ發表セリ）
2. 腦脊髄膜炎ニ因ル聾ノ解剖（耳鼻咽喉科月報第65卷第10號ニ發表セリ）
3. 中耳化膿ニ繼發セル頸部流注膿瘍ニ就テ（追テ大日本耳鼻咽喉科學會報ニ發表ノ豫定）

藤間 靜君

主論文

1. 分離細菌沈降素ニヨル被働性過敏症ノ實驗的研究（本誌第43年第12號ニ發表セリ）
2. 鳥類免疫血清ノ補體阻止ニ關スル研究特ニ分離免疫體ニヨル補體結合並ニ過敏症反應ニ就テ（本誌第44年第2號ニ發表セリ）

參考論文

1. 各種喰菌作用ニ關スル研究（追テ本誌ニ發表ノ豫定）
2. 痘苗免疫血清ニ關スル研究（追テ本誌ニ發表ノ豫定）
3. 金屬ノ「オロゴチナミツシエヴイルグング」ニ對スル光線ノ影響ト飲料水殺菌ニ對スル應用

ニ就テ（追テ岡山醫科大學歐文業府ニ發表ノ豫定）

4. 街路樹及ビ屋根瓦ノ防暑效果比較研究（本誌第43年第7號ニ發表セリ）

◎學位授與決定

篠原一幸君は論文を北海道帝醫學部に提出し學位を請求し居られしが本月6日の教授會を通過し醫學博士の學位を授與すべき者と決定せり其の主論文は左の如し

遊離骨膜移植に關する實驗的研究

◎第5回野球大會

岡山醫科大學々友會野球部主催にて去月26,27の兩日同大學及び第六高等學校運動場にて第5回高專野球大會を開催したり參加校は左記の7校にて高松高等商業學校優勝したり

第六高等學校 姫路高等學校 浪花高等學校
山口高等學校 高知高等學校 松山高等學校
高松高等商業學校

◎第7回卓球大會

岡山醫科大學學友會卓球部主催にて本月3,4の兩日全國高等專門學校卓球大會を同學大講堂に於て開催せり參加校は左記10校にて優勝チームは名古屋高等商業學校、個人優勝は關西學院小林君に歸したり

姫路高等學校 高松高等商業學校 名古屋高等商業學校 九州醫學專門學校 同志社大學 豫科 東京齒科醫學專門學校 關西學院 鳥取高等農業學校 大阪齒科醫學專門學校 第六高等學校

◎寄生蟲和名統一委員會

寄生蟲和名決定案

昭和8年4月5日寄生蟲和名統一委員會に於て可決せし普通寄生蟲名は次の如し

吸 蟲 類

- 1. *Fasciola hepatica* Linnaeus. 肝蛭
- 2. *Fasciolopsis buski* (Lankester). 肥大吸蟲
- 3. *Clonorchis sinensis* (Cobbold).
肝吸蟲或は肝臟「ヂストマ」
- 4. *Paragonimus westermani* (Kerbert).
肺吸蟲或は肺臟「ヂストマ」
- 5. *Heterophyes* [Genus]. 異形吸蟲(屬)
- 6. *Metagonimus yokogawai* Katsurada.
横川吸蟲
- 7. *Echinostoma* [Genus] 棘口吸蟲(屬)
- 8. *Schistosoma haematobium* (Bilharz).
「ビルハルツ」住血吸蟲
- 9. *Schistosoma mansoni* Sambon.
「マンソン」住血吸蟲
- 10. *Schistosoma japonicum* Katsurada.
日本住血吸蟲

條 蟲 類

- 1. *Taenia solium* Linnaeus. 有鉤條蟲
- 2. *Taeniarhynchus saginatus* (Goeze).
無鉤條蟲
- 3. *Echinococcus granulosus* (Batsch). 狸粒條蟲
- 4. *Hymenolepis nana* (von Siebold). 矮小條蟲
- 5. *Hymenolepis diminuta* (Rudolphi).
縮小條蟲
- 6. *Diphyllobothrium latum* (Linnaeus).
廣節裂頭條蟲
- 7. *Diphyllobothrium mansoni* (Cobbold).
「マンソン」裂頭條蟲
- 8. *Sparganium proliferum* (Ijima). 芽殖孤蟲
- 9. *Diplogonoporus grandis* (Blanchard).
大複殖門條蟲

線 蟲 類

- 1. *Ascaris lumbricoides* Linnaeus. 蛔蟲
- 2. *Enterobium vermicularis* (Linnaeus). 蟻蟲

- 3. *Rhabditis* [Genus]. 桿蟲(屬)
- 4. *Strongyloides stercoralis* (Bavay). 糞線蟲
- 5. *Ancylostoma duodenale* Dubini.
「ヅビニ」鉤蟲
- 6. *Ancylostoma braziliense* de Faria.
「ブラジル」鉤蟲
- 7. *Ancylostoma malayanum* (Alessandrini).
「マレイ」鉤蟲
- 8. *Necator americanus* Stiles et Hassall.
「アメリカ」鉤蟲

5. 6. 7. 8. は鉤蟲又は十二指腸蟲なる名稱を總稱として用ふ

- 9. *Trichostrongylus orientalis* Jimbo.
東洋毛線蟲
- 10. *Wuchereria bancrofti* (Cobbold).
「バンクロフト」絲狀蟲
- 11. *Acanthocheilonema perstans* (Manson).
常在絲狀蟲

- 12. *Onchocerca volvulus* (Leuckart). 廻旋絲狀蟲
- 13. *Onchocerca caecutiens* (Brumpt).
發盲絲狀蟲
- 14. *Loa loa* (Guyot). 「ロア」絲狀蟲
- 15. *Draconculus medinensis* (Velsch).
「メデナ」蟲
- 16. *Gnathostoma spinigerum* (Owen).
有棘顎口蟲

- 17. *Diocotophyme renale* (Goeze). 腎蟲
 - 18. *Trichinella spiralis* (Owen). 旋毛蟲
 - 19. *Trichocephalus trichiurus* (Linnaeus). 鞭蟲
- Di.....「ヂ」又「デイ」と書く。例へば *Distoma* は「ヂストマ」又は「デイストマ」の如し。以上

◎近畿岡山醫學會通信

ブローグ

ことし、此の會は風景の恵みに疎い大阪方の擔當とある。さるほどに、青葉一山杜鵑一初鑿と、これ

で行樂の季節も一段落。さてこそ、「風光明媚」に飽満した京神各地の客を招くは今此の時ツとばかり、當番幹事血眼のただ中へ現れ出でたる六代目、多年待望の菊五郎、而も鷹治郎と初顔合せで十二年振のお目見得。これなら聊か馳走にならうと贅六が庖刀おつとり、しつらへ上げたる献立は食傷ならぬ大當りのグリーンヒットとなつて會員殺到、定刻前早くも受附子を面食はせるの盛況を呈した。茲に、岡山の母校から田村學長がはるばると御來臨下された事は會員一同の深謝するところで、觀劇以上の感激を値した。

プログラム

時 昭和8年6月11日(第2日曜日)

所 大阪、千日前、歌舞伎座

内容 中村鷹治郎、尾上菊五郎合同大一座觀劇兼懇親會

次第 午後1時より、來會者は正面入口に私設の受附を経由して、地階の本會々場に充てた専用ホールに少憩、久潤の談を交し、やがて三々五々場内を巡覽する一方、十餘人宛のグルッペは、特約によつて、日頃出入禁斷の舞臺裏に潜入し、折から晝の狂言開演中の粉黛匂ふグロの別天地を地階から七階まで内偵し、流石に近代科學の粹を集めて、施設に規模に、斷然東洋一を誇る演劇の錦城を表裏縦横から觀察する。

午後3時、全會員は再び會場に集合。まづ足立幹事の開會と歡迎の辭、次いで恒例によつて本年還暦の會員吉谷君等五君に敬老表明の祝賀品贈呈、之に對する尾池君の答辭、次回の本會開催地、京都代表長井君の挨拶、最後に田村學長の挨拶あり、續いて當座附作者食滿南北氏がこれから開演せられる各狂言の内容に就て、彼氏一流のユーモラスな解説を加

歌舞伎觀賞に必要な豫備智識を注入する。ここで晚餐に移り、其の後で阪東三津五郎氏が來場し、得意の舞踊藝談を語る。とかくして時の移るを忘れ

るうちに、はや夜の部開幕のベルが鳴る。

午後5時半から 1. 鉢の木、2. 山科閑居、3. 身替座禪、4. 魚屋宗五郎、5. 乗合船、と繰り展べられる名曲に陶醉し、名優揃ひの神技に魅了せられて、會員一同忘我の境に、まる半日の歡を盡して散會したのは、かれこれ11時。

出席者

岡山	田村學長				
京都	長井操	百々	二郎	鬼本	宇三郎
	藤村幸輝	岩中	三郎	草野	源太郎
和歌山	生馬茂	原田	忠男		
姫路	藤森眞治				
明石	長龜久麿	前田	圭三	白石	隆二
	岡田正矩				
三田	和田精才				
神戸	加藤先生	高橋	彌宗一	香川	弘毅
	美木俊雄	石田	幾馬	宮原	正康
	藤原政雄	内田	綱太郎	一藤	元嗣
	折島整	林	昇	富山	四郎
	永島良之助	安本	和夫	滋野	井至孝
	中村松男	水野	善一	藤原	寛治
	前田三郎	赤岩	亨二	小澤	清躬
	緒方顯孝	渡邊	清	清水	勝男
	足高万太郎	野津	芳孝	阿部	幸祐
	水田泰了	山中	豊二	前田	純史
	進藤直作	佐野	實	朝倉	長三
	本城定男				
阪神間	戸田亨	南川	欣司	清岡	直
	細見英	山下	賢範		
大阪府	中井義重	饗場	美誠	紺谷	茂
	藤井貫一	藤本	茂治	山添	貞三
	松村洋	森	隼之助	水野	澤齋
大阪市	山内先生	中川	先生	尾池	元太郎
	笠原哲彌	吉谷	恒三郎	大賀	正造
	岡本英一	八木	齊	園田	富士彦
	下元猛彦	菊田	兵三	谷内	與一郎
	和佐景	平井	鉄夫	山口	一雄
	兒玉利堯	中野	滿隆	重本	立郎
	久保富太郎	宗野	正	越智	昇一
	音田徳太郎	佐伯	純一	馬淵	秀逸
	野村清	尾高	甫	山崎	馨
	竹島光藏	井上	秀男	妹尾	義一
	山本泰吉	村上	茂	佐藤	鳴海
	平岡寛	池村	隆正	岸	毅郎
	三上紀之	上田	敏夫	永野	武二
	太田貞吉	宇都宮	博章	平井	義雄
	相原義一	古谷	滋夫	足立	真久
	伊藤幸憲	西尾	修五郎	黒住	久

其の他同伴の家族、細見慶吉氏外 20名を加へて 總勢 135名。

幹事 吉谷恒三郎 足立 貫 伊藤 幸憲
西尾修五郎 黒住 久